

2011年12月14日(水)朝日新聞山形版に掲載!

# 白洲次郎の別荘 保存へ

## 蔵王温泉「ヒュッテ・ヤレン」東京のNPOが活動

終戦後、吉田茂首相の側近として活躍し、東北電力の初代会長も務めた白洲次郎(1902〜85)が別荘として建てた山形市蔵王温泉スキー場の山荘「ヒュッテ・ヤレン」を復元・保存し、地域の活性化に役立てようという動きが広がっている。10日には今後の活用方法を考えるミニフォーラムが開かれた。

東京のNPO法人「元氣・まちネット」が中心になって、築家仲間と保存活動を始めた。

取り組んでいる。戸沢村出身の矢口正武代表(64)がスキーで蔵王に来た際に別荘の存在を知り、東京在住の現在の持ち主に直談判。修繕と一般公開の許可を得て今年6月、建



白洲が建てたとされるヒュッテ・ヤレン＝山形市蔵王温泉

## 募金やツアー計画

ドアのレバーハンドルなどは当時の日本には珍しい。1階部分は広い居間だったのを小部屋の寝室に改装したらしい。建物は老朽化が進んでいる。

10日のフォーラムには地域住民ら50人が参加。同法人側が建物の特徴を解説し、一般開放までに必要な準備や資金の説明をした。保存や活用方法などを話し合った懇談会では「できるだけオリジナルを残して活用したい」「蔵王の風景や人情といった魅力を再興する中で山荘を位置づけた」といった意見が出た。

同法人は費用として1500万円を目標に年明けから募金活動を開始。都内でイベントを開いたり、蔵王へのツアーを組んだりして支援を呼びかける。矢口さんは「蔵王をスイスのリゾート地に重ね、『東洋のサンモリッツにしよう』と話した白洲の心を山形の財産にしていきたい」と話している。(笹田香)